

2017



UDCBKで開催しているセミナーの様子

草津市 総合政策部 草津未来研究所

平成29年度事業報告書



草津市における雇用の概観に関する研究会

目 次

I	草津未来研究所について.....	1
II	事業成果.....	3
1	調査研究活動.....	3
	(1) シンクタンク機能.....	3
	(2) データバンク機能.....	6
	(3) コンサルティング機能.....	7
2	人材育成活動.....	7
	(1) トレーニング機能.....	7
	(2) プラットフォーム機能.....	8
3	情報発信にかかる活動.....	15
4	その他の活動.....	16
III	運営体制.....	17

I 草津未来研究所について

草津未来研究所は 2010(平成 22)年 4 月 1 日に設立し、以下の目的により自治体の研究所として活動をしている。

【目的】

草津市の未来を見据えた調査研究に基づき、政策を提案し、草津市の政策審議機能の充実に寄与する。

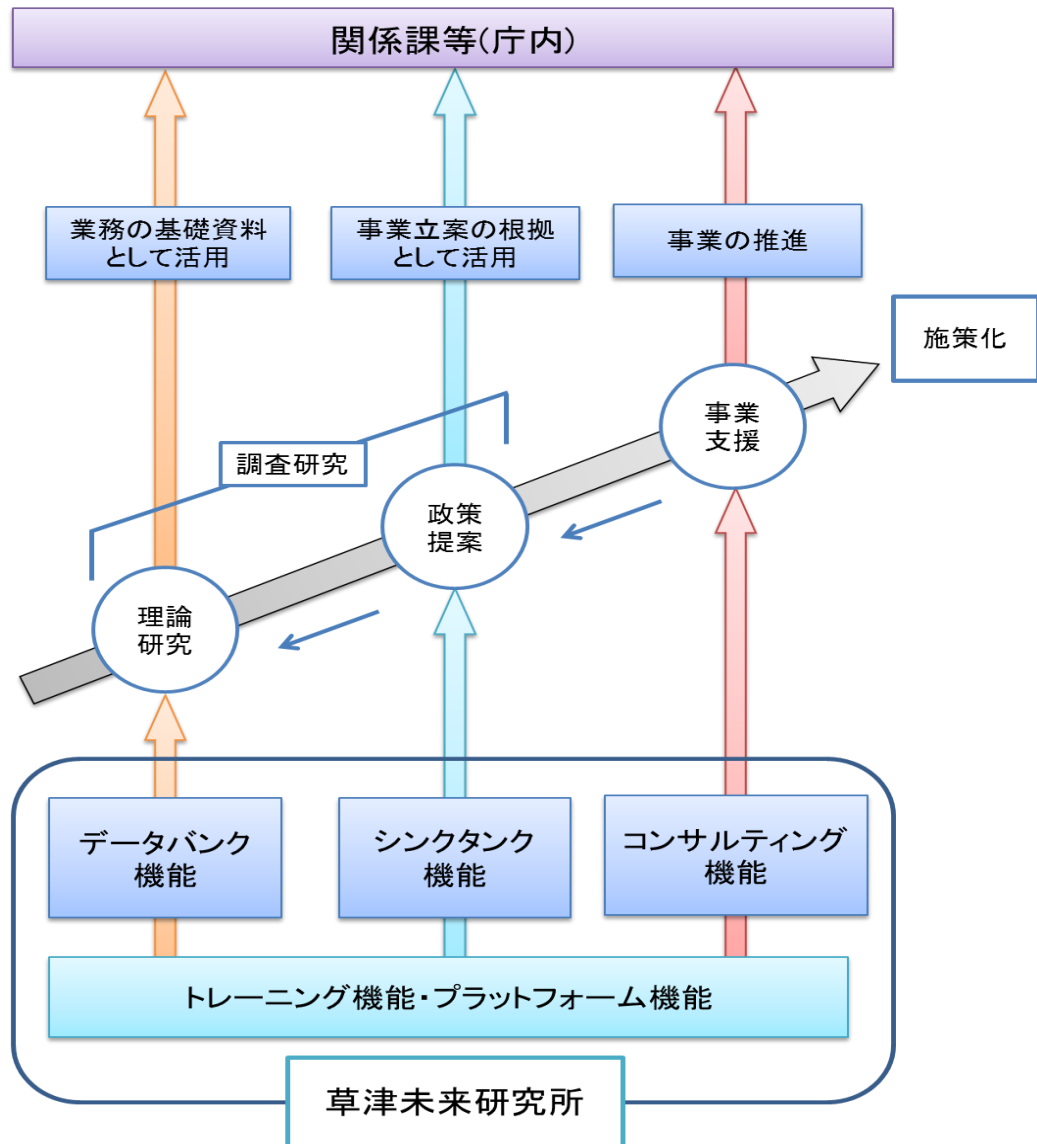
【活動】

草津未来研究所の活動は、本市の政策課題に即しながら、課題解決や政策立案等の政策形成に結びつく調査研究活動と本市における政策形成能力の向上を目指し、職員の政策形成能力の向上と草津市の未来を担う人材の育成を目指す人材育成活動の 2 つの活動に、以下に示す 5 つの機能を位置付けて取り組んでいる。

調査研究 活動	① シンクタンク機能 (研究所の中心的活動)	・実践的で戦略的な政策提案
	② データバンク機能	・政策情報の収集・分析・蓄積・発信 ・政策情報の指標化・論点整理
	③ コンサルティング機能	・担当課の業務支援 ・各部への情報提供

人材育成 活動	① トレーニング機能	・調査研究活動を通じた人材育成 ・地域政策研究「未来塾」
	② プラットフォーム機能	・市民（地域）と学生との連携を生み出す場の形成等 ・アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業（UDCBK）

【活動イメージ】



Ⅱ 事業成果

1 調査研究活動

(1) シンクタンク機能

① 調査研究

(a) 草津市における雇用の概観に関する調査研究

－基幹統計調査に基づく課題抽出－

国においては 2017(平成 29)年に、政府全体における証拠に基づく政策立案(エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング。以下、「EBPM」という。)の定着等の観点から、抜本的な統計改革及び一体的な統計システムの整備等を政府が一体となって強力に推進するために必要な検討を行うことを目的として、統計改革推進会議が開催された。2017(平成 29)年 5 月に公表された「統計改革推進会議 最終取りまとめ」の冒頭においては、政策部門が統計等を積極的に利用して、EBPM を推進する必要性が述べられている。

そのため、自治体シンクタンクとしては、データ分析に基づき課題解決を図る知識・技術の庁内蓄積のため、政策課題の中から先行テーマを設定し、データ分析による課題抽出や洗い出し等の具体的事例を提示していく必要がある。そこで、本調査研究では日々の市民生活に多大な影響を与え、また、庁内各部署にも広く関係する「雇用」を先行テーマに選定し、基幹統計調査を用いた雇用の概観を行い、10 年先を見据えた雇用課題の抽出・洗い出しを試みた。

【草津市における雇用の概観に関する研究会】

	氏 名	所 属
関係機関	松原 豊彦	立命館大学 経済学部
	志賀 文昭	株式会社しがぎん経済文化センター 産業・市場調査部
	長山 真由美	株式会社しがぎん経済文化センター 産業・市場調査部
行政機関	金田 重宏	近畿経済産業局 地域経済部 地域経済課 地域開発室
	岩根 和哉	近畿経済産業局 地域経済部 地域経済課 地域開発室
	鈴木 悦造	滋賀県県民生活部 統計課分析係
	河原 健一	草津市環境経済部 商工観光労政課
	猪口 俊輔	草津市健康福祉部 生活支援課
	岡安 誠	草津市総合政策部 草津未来研究所

【研究会開催】

日 時	内 容
2017(平成29)年12月7日	「国および滋賀県の雇用概観について」 話題提供者：滋賀県統計課分析係 鈴木 悦造氏

【その他】

日 時	内 容	備 考
2017(平成29)年5月17日～19日	総務省統計研修	統計入門課程「統計利用者向け入門」
2017(平成29)年7月14日	滋賀県統計相談	平成29年度しが統計アクション事業

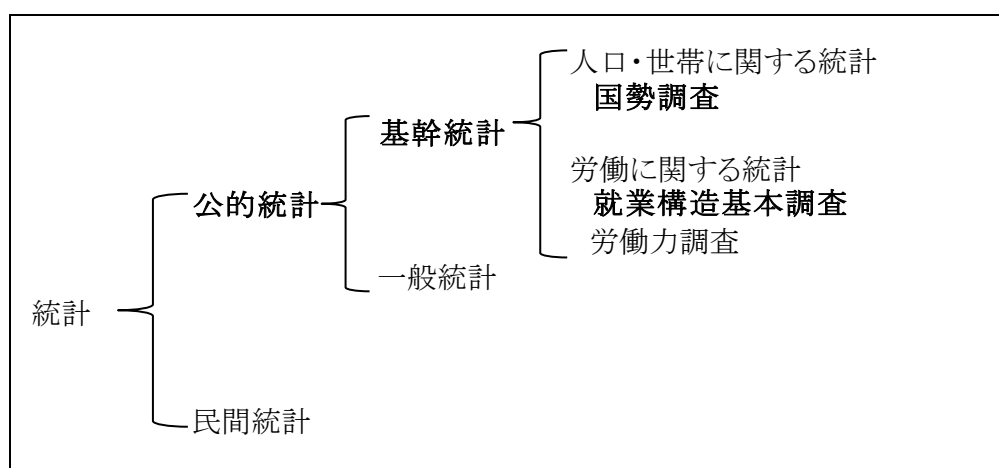


図 本調査研究対象の統計分類

(b) 市民調査に基づく「住みやすさ」に関する調査研究

平成27年度の「住みやすさ」に関する調査研究では、市民個人の主観に基づく「住みやすさ」の要因を探り、その結果として、「利便性」が客観・主観ともに最も重視されていることが分かった。

しかしながら、「利便性」は、これまで過ごしてきた居住地との比較や、他の地域の情報に基づくものからの比較であり、より利便性が良いと感じる地域があれば、個別理由による制約がない限り、その地域へ移住される可能性がある。少子高齢化が急激に進み、人口減少が余儀なくされる今日、過疎化が進む自治体やそうでない自治体においても、住民の移住や定住に向けた取り組みが行われるようになってきた。

本調査研究では、草津市民を対象としたインタビュー調査やアンケート調査、市外に居住されている方の街歩きによるイメージ調査を実施し、「草津市に住んでよかった」という満足感に繋がる要素を探った。

【各種調査】

日 時	内 容	備 考
2017(平成29)年7月28日 ～7月29日	グループ・インタビュー調査	調査協力：立命館大学
2017(平成29)年9月30日	街歩き調査	調査協力： 大阪ガス(株)都市魅力研究所
2017(平成29)年10月7日 ～10月9日	街頭インタビュー調査	
2017(平成29)年12月1日 ～12月11日	アンケート調査	調査協力：立命館大学

② 都市政策懇話会

中長期の都市づくりに関して広域的かつ横断的な視点から、その目指すべき方向性や具体的な方策について草津未来研究所運営会議委員（学識経験者）の「知」の活用を図り、理事者の政策判断に寄与することを目的とした懇話会を開催した。

【第1回 都市政策懇話会の開催】

	開 催 日	内 容
第1回	2017(平成29)年 8月1日	「中心市街地活性化に向けての今後の取り組みについて」 ・今後の草津駅前の賑わいを創出していくまちづくりを進めるにあたって、様々な角度から学識経験者の意見をいただいた。 話題提供者：都市計画部理事（都市再生担当）六郷 昌記 都市計画部都市再生課課長 荻下 則浩

【第1回 都市政策懇話会出席者】

区 分	氏 名	役 職
アドバイザー	松原 豊彦(座長)	学校法人立命館副総長 (草津未来研究所所長)
	肥塚 浩(副座長)	立命館大学イノベーション・マネジメント研究センター長 (草津未来研究所顧問)
	戸所 隆	高崎経済大学名誉教授、上越市創造行政研究所所長 (草津未来研究所相談役)
	小沢 道紀	立命館大学スポーツ健康科学部准教授 (草津未来研究所副所長)
市側	橋川 渉	草津市長
	善利 健次	草津市副市長
	田中 祥温	総合政策部理事
	六郷 昌記	都市計画部理事（都市再生担当）
	荻下 則浩	都市計画部都市再生課課長

事務局	江南 嘉宏	総合政策部草津未来研究所参事
-----	-------	----------------

【第2回 都市政策懇話会の開催】

	開催日	内 容
第2回	2017(平成29)年 10月13日	「健幸都市基本計画」に基づく「しごとの健幸づくり」の取り組みについて ・草津市健幸都市基本計画に基づく三つの基本方針の中の一つ「しごとの健幸づくり」について、今後、更に産学公民の連携した取り組みを進めるために、学識経験者から意見を聞いた。 話題提供者：健康福祉部理事（健康福祉政策担当） 富安 知翔

【第2回 都市政策懇話会出席者】

区 分	氏 名	役 職
アドバイザー	松原 豊彦(座長)	学校法人立命館副総長 (草津未来研究所所長)
	肥塚 浩(副座長)	立命館大学イノベーション・マネジメント研究センター長 (草津未来研究所顧問)
	戸所 隆	高崎経済大学名誉教授、上越市創造行政研究所所長 (草津未来研究所相談役)
	小沢 道紀	立命館大学スポーツ健康科学部准教授 (草津未来研究所副所長)
市側	橋川 渉	草津市長
	脊戸 拓也	総合政策部政策監
	田中 祥温	総合政策部理事
	竹村 徹	環境経済部長
	西 典子	健康福祉部長
	富安 知翔	健康福祉部理事（健康福祉政策担当）
	杉江 茂樹	健康福祉部総括副部長
	八杉 淳	教育委員会専門理事（歴史文化担当）
事務局	江南 嘉宏	総合政策部草津未来研究所参事

(2) データバンク機能

① 庁内各種データの集積

各課が持つデータやアンケート調査の情報のインベントリ一覧について、内容の追加・修正を行った。（修正：100件、削除：9件、追加：14項目、累計431件）

また、草津未来研究所が所有する文献の目録について、文献データ（調査研究報告書等）の追加を行った。（108件：累計1,348件）

② 地域別人口推計

住民基本台帳人口に基づく、地域別の推計人口を算出した。

推計の方法：年齢毎の推移率を基本に推計

(1,000 ㎡以上、50 戸以上の開発を考慮)

基準日：各年 3 月 31 日

地域の単位：14 小学校区

③ 政策情報の整理

住民基本台帳に基づく人口と世帯に関するデータを整理するとともに、データの追加・更新を行った。

(3) コンサルティング機能

「草津市にマッチした新しい防災活動のあり方検討報告書」作成支援

総合政策部危機管理課から依頼を受けて、UDCBK職員が、草津市ぼうさい応援隊、及びぼうさい応援隊を構成する各団体、個人の活動を参与観察し、社会関係資本論やネットワーク理論を援用して「防災草津モデル」としてまとめた。

2 人材育成活動

(1) トレーニング機能

地域政策研究「未来塾」の実施

2017(平成 29)年度は、講師に戸所隆氏(高崎経済大学名誉教授・草津未来研究所相談役)と筒井淳也氏(立命館大学教授)を迎え 4 回開催した。



	開催日	内容	参加人数
第1回	2017(平成 29)年 5 月 22 日	テーマ：「草津川跡地公園を活かした草津駅周辺のまちづくりについて」	32

第2回	2017(平成29)年7月31日	テーマ：「草津のみらい」 ー今考えておかなければならないことー	16
第3回	2018(平成30)年1月25日	テーマ：「人口減少と家族」 ー世帯と系に焦点を当ててー	12
第4回	2018(平成30)年2月15日	テーマ：「仕事と家族の変化」 ー有償労働と無償労働の改革の方向性ー	14

(2) プラットフォーム機能

① 環びわ湖大学・地域コンソーシアム

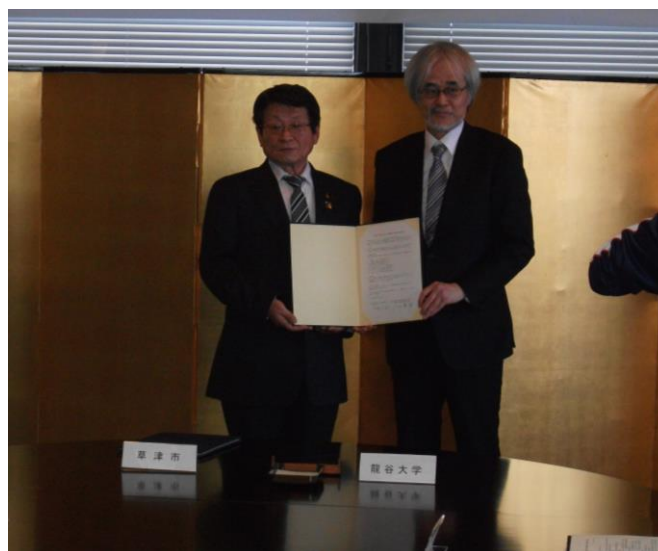
環びわ湖大学・地域コンソーシアムの事業として、以下の3件の大学地域連携課題解決支援事業が採択され取り組んだ。

提案団体	連携大学・自治体	取組テーマ
草津市教育委員会 文化財保護課	立命館大学理工学部 建築都市デザイン学科	市内に残る歴史的建造物を保護・活用するための調査事業
立命館大学サービス ラーニングセンター	立命館大学共通教育推進機構 草津市農林水産課	草津野菜の地産地消サポート、農業生産者および消費者の高齢化対策、生産者と消費者がつながる環境づくり
草津市企画調整課	龍谷大学理工学部 草津市企画調整課	「明日行きたくなる！草津市の魅力発信映像」の制作

また、2017(平成29)年11月25日に、甲賀市かふか生涯学習館で開催した「環びわ湖大学地域交流フェスタ2017」における運営にUDCBK職員が携わった。

② 龍谷大学との包括協定

龍谷大学と草津市のこれまでの協力関係を踏まえ、龍谷大学が持つ学問的特性を活かした諸課題の解決を目的に、両者間で包括協定を締結することとなり、調印式が2018(平成30)年2月23日に行われた。これを契機として、「青花紙」を文化資源として保存継承に向けた事業等において、さらに連携協力を進めていく予定である。



③ アーバンデザインセンターびわこ・くさつ（UDCBK）事業

(a) アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業運営懇話会

アーバンデザインセンターびわこ・くさつの運営に関する助言と法人化の妥当性について助言をいただくことを目的に設置した。

【アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業運営懇話会委員】

区 分	氏 名	所 属
座 長	松原 豊彦	学校法人立命館副総長（草津未来研究所所長）
副座長	善利 健次	草津市副市長
委 員	及川 清昭	立命館大学理工学部教授 （アーバンデザインセンターびわこ・くさつセンター長）
	肥塚 浩	立命館大学イノベーション・マネジメント研究センター長 （草津未来研究所顧問）
	岡本 直輝	立命館大学 BKC 地域連携室長（スポーツ健康科学部教授）
	小林 達男※	草津市まちづくり協議会連合会会長
	堀江 尚子	公募市民（NPO 法人くさつ未来プロジェクト代表）
	廣畑 諭	パナソニック株式会社アプライアンス社 人事・総務部総務一課主幹
	肥田 明久※	滋賀銀行草津支店長
	加藤 幹彦	草津商工会議所専務理事
	神部 純一	滋賀大学社会連携研究センター教授
	秦 憲志	滋賀県立大学地域共生センター主席調査員
	遠藤 俊子	京都橘大学副学長
	青木 均	草津市コミュニティ事業団常務理事

※年度途中で委員交代あり

【アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業運営懇話会の開催】

	開 催 日	内 容
第 1 回	2017(平成29)年 7月11日	- 懇話会委員自己紹介 - 昨年度事業および今年度事業計画（決定分）実績報告 - 新拠点移転について - 今年度事業計画（未決定分）について
第 2 回	2017(平成29)年 10月24日	- 今年度（前期）活動実績および今年度（後期）活動計画 - オープンスペース利用について - 法人化の検討について
第 3 回	2018(平成30)年 2月13日	- 今年度事業について - 法人化の検討状況について - 来年度事業について

(b) アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業法人化検討ワーキング部会

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業の更なる事業展開を見据えて法人化することの是非を検討することを目的に設置した。

【アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業法人化検討ワーキング部会委員】

区 分	氏 名	所 属
座 長	肥塚 浩	立命館大学イノベーション・マネジメント研究センター長 (草津未来研究所顧問)
委 員	及川 清昭	立命館大学理工学部教授・キャンパス計画室長 (アーバンデザインセンターびわこ・くさつセンター長)
	加藤 幹彦	草津商工会議所専務理事
オブザーバー	近清 雅彦	立命館大学びわこ・くさつキャンパス事務局長
	田中 祥温	草津市草津未来研究所副所長

【アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業法人化検討ワーキング部会の開催】

	開 催 日	内 容
第 1 回	2017(平成29)年 12月14日	・ワーキング部会委員自己紹介 ・座長の選任 ・UDCBK 設立背景・目的について ・UDCBK の組織形態について ・法人化によるメリット・デメリットについて
第 2 回	2018(平成30)年 2月6日	・第 1 回ワーキング部会の振り返り ・第 1 回確認事項の共有 ・まとめ

(c) アーバンデザインスクール

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業において、市民と専門家の媒介の専門家、及び地域の専門家の育成を目的に「アーバンデザインスクール」を実施した。前期は「草津の未来の交通について考える」（参加延人数 104 人）、後期は「都市の風景のつくりかた」（参加延人数 124 人）をテーマに全 5 回実施した。

【前期】

	開 催 日	内 容	参加 人数
第 1 回	2017(平成29)年 6 月 28 日	テーマ：「未来の交通を考えるために知っておきたいこと」 話題提供者：塚口博司氏 (立命館大学理工学部特任教授)	35

第2回	2017(平成29)年 7月12日	テーマ：「欧州諸都市の経験に学ぶ“誰でもが安全に歩いて暮らせるまちづくり”（人中心のまちづくり）」 話題提供者：岡井有佳氏 (立命館大学理工学部准教授)	23
第3回	2017(平成29)年 8月25日	テーマ：「まちなかの渋滞や交通事故のリスクを減らすまちづくり（気まぐれな私的交通を調整する）」 話題提供者：小川圭一氏 (立命館大学理工学部教授)	14
第4回	2017(平成29)年 9月2日	テーマ：「誰でもが自由に快適に移動できるまちづくり（あらためて公共交通を考える）」 話題提供者：近藤宏一氏 (立命館大学経営学部教授)	20
第5回	2017(平成29)年 10月14日	テーマ：「ワークショップ 草津の未来の交通を考える」 話題提供者：塩見康博氏 (立命館大学理工学部准教授)	12

コーディネーター：塩見康博氏（立命館大学理工学部准教授）

【後期】

	開催日	内 容	参加人数
第1回	2017(平成29)年 11月11日	テーマ：「建築家とランドスケープ」 話題提供者：松永安光氏 (株式会社近代建築研究所所長／一般社団法人 HEAD 研究会理事長)	20
第2回	2017(平成29)年 12月16日	テーマ：「つかいこなしながら生み出す「公園」と「まち」の つくりかた」 話題提供者：忽那裕樹氏 (株式会社 E-DESIGN パートナー／特定非営利活 動法人パブリックスタイル研究所理事長／ 「OSOT0web」編集長)	29
第3回	2018(平成30)年 1月6日	テーマ：「タクティカル・アーバンイズムが変える都市の風 景」 話題提供者：泉山壘威氏 (東京大学先端科学技術研究センター助教／ ソトノバ編集長／UDCBKアーバンデザイン センター大宮ディレクター)	30
第4回	2018(平成30)年 2月17日	テーマ：「まちを変える市民のアーバンピクニック」 話題提供者：村上豪英氏 (株式会社村上工務店／神戸モトマチ大学) 福岡孝則氏 (東京農業大学准教授／Fd Landscape 主宰)	20

第5回	2018(平成30)年 3月17日	テーマ：「都市デザインのチカラ」 話題提供者：小野寺康氏 (有限会社小野寺康都市設計事務所取締役代表)	25
-----	----------------------	---	----

コーディネーター：武田史朗氏（立命館大学理工学部教授／UDCBK副センター長）

(d) 未来創造セミナー

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業の4つの機能（学習・交流、調査研究、社会実験、情報発信）のうち、学習・交流機能として実施した。

	開催日	内 容	参加人数
第1回	2017(平成29)年 6月9日	テーマ：「新しく生まれ変わるUDCBK」 話題提供者：及川清昭氏 (UDCBKセンター長、 立命館大学理工学部教授) 武田史朗氏 (UDCBK副センター長、 立命館大学理工学部教授)	23
第2回	2017(平成29)年 8月5日	テーマ：「市民も変わる、行政も変わる!! オープンガバナンス」 話題提供者：奥村裕一氏 (東京大学公共政策大学院客員教授)	16
第3回	2017(平成29)年 8月26日	テーマ：「草津ってどんな感じ?～目印、遊び場、気になる場所」 話題提供者：山口純氏 ((一社) エスコラ理事)	34
第4回	2017(平成29)年 9月15日	テーマ：「予測不能な時代の未来のまちづくりを考える」 話題提供者：小林傳司氏 (大阪大学理事・副学長)	23
第5回	2017(平成29)年 10月18日	テーマ：「みんなでつくる「まちライブラリー」」 話題提供者：磯井純充氏 (まちライブラリー提唱者)	20
第6回	2017(平成29)年 12月8日	テーマ：「「感じて、ふれて、ベトナム！」フェスタができるまで～外国からの人々と野路町の人々のハートフルなものがたり～」 話題提供者：ディン.ティ.ドン.フゥーン氏	25
第7回	2018(平成30)年 1月6日	テーマ：「草津に生まれ育ち、そして草津を離れて気づいたこと ～All For One すべては草津の未来のために～」 話題提供者：山元圭太氏 ((株) PubliCo 代表取締役 COO)	44

第 8 回	2018(平成30)年 1月20日	テーマ：シリーズ 地域で語り継がれる港の物語り ～湖上交通が盛んだったころの記憶・思い出～ ①常盤に語り継がれる港の話 (常盤の民話集より) 情報提供者：読者グループ松葉会 富田由布子氏 (草津市草津宿街道交流館学芸員)	24
第 9 回	2018(平成30)年 2月3日	テーマ：シリーズ 地域で語り継がれる港の物語り ～湖上交通が盛んだったころの記憶・思い出～ ②「急がば回れ！」の語源の地 「矢橋の渡し」への思い 情報提供者：辻浦岩水氏 (「湖帆の郷」を語る会) 岩間一水氏 (草津市草津宿街道交流館学芸員)	29
第 10 回	2018(平成30)年 2月24日	テーマ：シリーズ 地域で語り継がれる港の物語り ～湖上交通が盛んだったころの記憶・思い出～ ③大津と山田を結ぶ定期船の思い出 情報提供者：竹川貞雄氏 岡田裕美氏 (草津市草津宿街道交流館学芸員)	42

(e) 草津市社会実験事前調査事業

大学を活かしたまちづくりの一環として、草津市をフィールドとし、市が設定したさまざまな分野にわたる 12 のテーマ（産業振興、文化・芸術、健康・福祉、自然・環境、景観、教育、子育て、地域、国際交流、防災・防犯等）を設定し、市と包括協定を締結している大学（立命館大学、滋賀大学、成安造形大学、京都橘大学、滋賀県立大学、滋賀医科大学）を対象に募集を行い、下記の 3 大学で実施した。

【草津市社会実験事前調査事業一覧】

提案大学	概 要
立命館大学	Sustainable Design Lab. 「市民とともに SDG s を考える機会の創出」
成安造形大学	琵琶湖のヨシを使用した「アートワークの実施による南草津駅前広場におけるにぎわいの創出」
京都橘大学	妊婦サロンにおける「産後早期の子育てに向けた家族教室 (FFP)」の効果検証

(f) 共催イベント

市役所各課、及び包括協定締結大学と協働で下表の事業を実施した。

【共催イベント】

	開催日	タイトル	共催者
1	2017(平成29)年 4月26日	ミナクサ☆カフェ	子ども子育て推進課
2	2017(平成29)年 6月18日	南草津の未来をデザインする ～デザイン・ビジネス、健康・空間、暮らし・からだ～	草津市商店街連盟 立命館大学
3	2017(平成29)年 8月4日	市民も変わる、行政も変わる!! オープンガバナンス	職員課
4	2017(平成29)年 10月3日～11月10日	ゆるキャラグランプリ (たび丸応援)	広報課
5	2017(平成29)年 10月11日	セレンディピティ TIME in UDCBK	まちづくり協働課
6	2017(平成29)年 10月14日, 18日	選挙啓発街頭活動	選挙管理委員会
7	2017(平成29)年 11月18日	DESIGN TALK SESSION 2017 「建築と土木の間」	立命館大学
8	2017(平成29)年 12月1日～15日	JR 南草津駅 階段デザイン市民投票	保険年金課 健康福祉政策課
9	2017(平成29)年 12月5日～9日	人権週間パネル展示	人権センター
10	2017(平成29)年 12月16日	JR 南草津駅前 階段デザイン公開コンペ	保険年金課 健康福祉政策課
11	2018(平成30)年 2月28日～3月22日	人権作品展示	人権センター
12	2018(平成30)年 3月10日	映画でまちを元気に キッズシネマ完成試写会と みんなでわいわいワークショップ	生涯学習課

(g) オープンスペースを活用した定例イベント

アーバンデザインセンターびわこ・くさつのオープンスペースを利用して、「やさしい にほんご さろん」を定期的実施した。

やさしい にほんご さろんとは、外国にルーツを持つ人と日本人がやさしい日本語で交流を深めつつ、草津のまちづくりについて考えるきっかけを提供することを目的に、毎週火曜日の午前10時から正午までと毎月第3金曜日の午後6時から午後8時まで開設している。今年度は特別企画として平成29年12月15日の金曜日に「介護の現場で活躍する外国人」と題したセミナーを開催した。

3 情報発信にかかる活動

(1) 未来通信

インターネットや新聞、情報誌等の外部から得た政策に役に立つ情報を整理し、市職員に向けて電子掲示板に掲載した。今年度はNo. 78 から No. 93 まで発行した。

(2) ホームページ

2016(平成 28)年度調査研究報告書、アーバンデザインセンターびわこ・くさつ（UDCBK）事業の情報など、随時 Facebook などでも併せて情報発信した。



(3) 調査研究報告書

2016(平成 28)年度調査研究の報告書を作成し、以下のとおり配布した。

- ・調査研究会メンバー
- ・草津市議会議員、草津未来研究所運営委員
- ・自治体シンクタンク等 22 箇所
- ・包括協定 6 大学
- ・庁内各課



(4) 調査研究報告

2016(平成 28)年度に実施した調査研究について庁内外に向けて報告会を開催した。

開催日	主 催	内 容
2017(平成29)年 6月2日	草津未来研究所	「2016(平成 28)年度に実施した草津未来研究所調査研究にかかわる報告会」 場所：草津市役所 2 階特大会議室 参加者：21 人 報告研究：○草津市における経済構造分析と経済波及効果分析に関する調査研究 ○草津市におけるオープンデータの利活用に関する調査研究

4 その他の活動

(1) 大学生インターンの受入

立命館大学協定型インターンシップにより 8 月の 5 日間、研修生 1 名を受け入れた。
草津市立図書館にて、資料の収集や貸出、読書相談などの業務を通じて、公共図書館のサービスと運営についての現状を現地での研修を通じて体験してインターンシップ研修を終了した。

(2) 自治体シンクタンク研究交流会議に出席（出席者：所長・主任研究員）

埼玉県春日部市で開催された第 5 回

自治体シンクタンク研究交流会議

(2017(平成 29)年 11 月 17 日・18 日) では、気象予報士による特別講演の他、統計データの有効な管理・活用方法とシンクタンクの意義について意見交換が行われた。次回の自治体シンクタンク研究交流会議は、栃木県宇都宮市で開催予定。



第 5 回自治体シンクタンク研究交流会議

(3) 第 4 回都市調査研究交流会への参加（参加者：草津未来研究所職員 1 名）

自治体において調査研究に関わる職員の調査研究技法に関する意見交換等の場として開催された交流会に参加した。

(公益財団法人日本都市センター主催 2018(平成 30)年 2 月 9 日 東京都千代田区)

(4) 視察の受け入れ

7 団体の視察を受け入れ、大学と連携した自治体内シンクタンクの機能等について説明を行った。

受け入れ日	都道府県	視 察 団 体	備考
2017(平成 29)年 4 月 25 日	鳥取県	米子市議会 蒼生会	
7 月 5 日	山形県	山形市議会 総務委員会	
10 月 18 日	東京都	小平井市議会 総務委員会	
10 月 20 日	東京都	清瀬市議会 総務文教常任委員会	
10 月 23 日	島根県	太田市議会 総務教育常任委員会	
12 月 8 日	福井県	坂井市三国町三国二の部区	UDCBK
2018(平成 30)年 1 月 23 日	兵庫県	神戸大学	UDCBK

(5) 幸せリーグ（参加者：草津未来研究所職員 1 名）

東京都荒川区が設立した「住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合（通称：幸せリーグ）」に参加している。（2018(平成 30)年 2 月 8 日現在、93 自治体に参加）

草津市が属する実務者会議第 3 グループにて、「人口減少・少子高齢化・雇用問題」について参加自治体とともに調査研究を行っている（2 箇年調査研究の 1 年目）。

Ⅲ 運営体制

【スタッフ】

職 名	氏 名	役 職
所長	松原 豊彦	学校法人立命館副総長
相談役	戸所 隆	高崎経済大学名誉教授、上越市創造行政研究所所長
顧問	肥塚 浩	立命館大学イノベーション・マネジメント研究センター長
副所長	小沢 道紀	立命館大学スポーツ健康科学部准教授
副所長	田中 祥温	草津市総合政策部理事
主任研究員	江南 嘉宏	草津市総合政策部草津未来研究所参事
UDCBK	中瀬 明美	草津市総合政策部草津未来研究所参事
UDCBKシニアディレクター	溝内 辰夫	草津市総合政策部草津未来研究所参事
研究員	岡安 誠	草津市総合政策部草津未来研究所専門員
UDCBK	中西 稔	草津市総合政策部草津未来研究所主査
再任用	林沼 敏弘	草津市総合政策部草津未来研究所主査

臨時職員	田中 志能奉	草津市総合政策部草津未来研究所
臨時職員（UDCBK）	田中 清子	草津市総合政策部草津未来研究所（UDCBK）

（2018 年 3 月末現在）

【運営会議の開催】

	開 催 日	開 催 内 容
第 1 回	2017(平成29)年 5月23日	・今年度の体制について ・2016(平成 28)年度事業の実績について ・2016(平成 28)年度調査研究について ・2017(平成 29)年度事業計画について ・2017(平成 29)年度調査研究について
第 2 回	2017(平成29)年 8月 1日	・プラットフォーム機能 UDCBK運営事業について ・2017(平成 29)年度事業の進捗状況について ・各調査研究の進捗状況について ・中心市街地活性化に向けての今後の取り組みについて
第 3 回	2017(平成29)年10月13日	・プラットフォーム機能 UDCBK事業実績および事業計画（案） ・各調査研究の中間報告 ・2017(平成 29)年度事業の進捗状況について ・2018(平成 30)年度事業案について ・「健幸都市基本計画」に基づく「しごとの健幸づくり」の取り組みについて
第 4 回	2018(平成30)年 3月 1日	・UDCBK事業について ・2017(平成 29)年度調査研究について ・2018(平成 30)年度調査研究企画(案)について ・2018(平成 30)年度事業計画について

草津市総合政策部草津未来研究所
平成 29 年度事業報告書

2018 年 3 月 発行

草津市 草津未来研究所

〒525-8588 滋賀県草津市草津三丁目 13 番 30 号

TEL 077-561-6009 FAX 077-561-2489

E-Mail kusatsumirai@city.kusatsu.lg.jp

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ（UDCBK）

〒525-0059 滋賀県草津市野路 1 丁目 13 番 36 号 西友南草津店 1 階

TEL 077-562-3932 FAX 077-562-9323